

「海岸事業の出前講座」

講座名 かながわの海岸保全事業の紹介（海岸保全・津波対策）
～国土を守り、安全・安心な暮らしを～

主な内容

～海岸侵食対策(主に養浜事業)について～

沿岸の土地利用が高度に進む昨今、海岸の侵食作用は、地球温暖化による海面上昇や地球規模の気候変動による台風の強大化により、日本国内にとどまらず世界規模の沿岸都市において、大きな課題となっています。強大な台風などの波浪による海岸侵食は、年々、規模が大きくなり、波を消す砂浜がなくなることで、本県でも西湘バイパスが波浪により度々通行止めとなる事態となり、災害に対する深刻さも増しています。

一方、本県では、「人工リーフ」や「ヘッドランド」と呼ばれる、砂浜の侵食を防止する施設の整備にいち早く取り組むと同時に、失われた砂浜を人の手によって取り戻す「養浜事業」にも早くから取り組んでいます。

相模湾沿岸は、自然が豊かで変化に富んだ美しい海岸を持ち、交通利便性の高さと相まって、首都圏屈指のビーチリゾートエリアとして、県民のみならず、多くの人々に親しまれています。

この神奈川の大切な財産と沿岸の生活を守り、支えている県の土木事業とは、どのようなものなのか！？皆様にお伝えすることで海岸の大切さを感じていただきたいと思います。